

食品産業動向調査結果

調査要領

調査時点 平成22年7月1日

調査期間 平成22年上半期実績及び平成22年下半期見通しについて調査

調査方法 郵送により調査票を配付し、郵送又はファックスにより回収

【調査対象企業】

当公庫取引先を含む食品関係企業 6,824社
回答先数 2,651社（回答率：38.8%）

《内訳》	食品製造業	1,621社
	食品卸売業	690社
	食品小売業	278社
	飲食店	62社

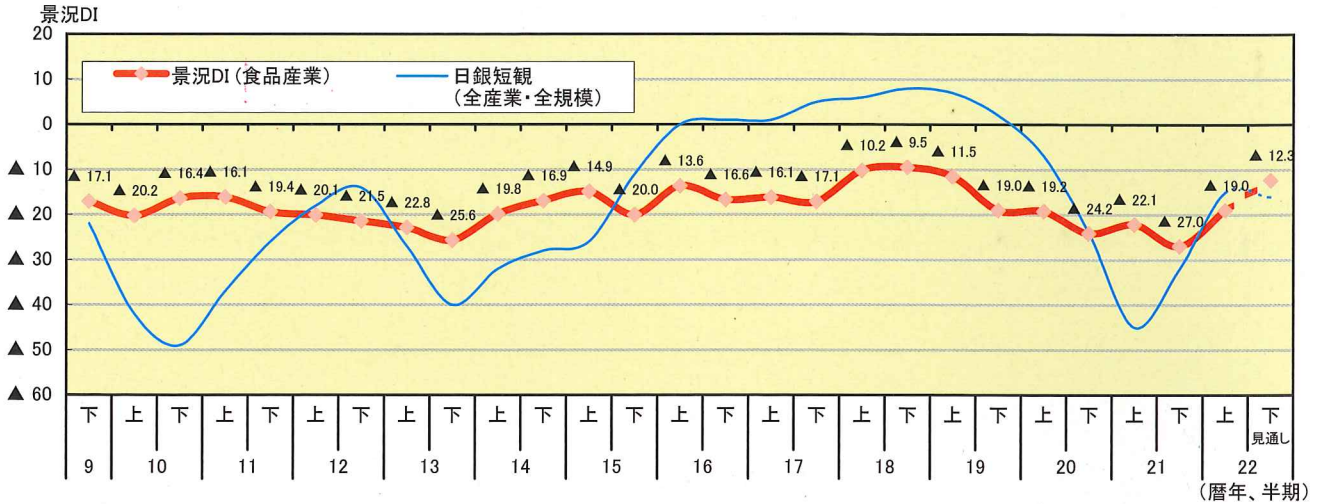


平成22年8月

1 景況DIの推移 (景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを平均して算出)

食品産業景況感は回復に転じ底打ち、下半期も改善見通し

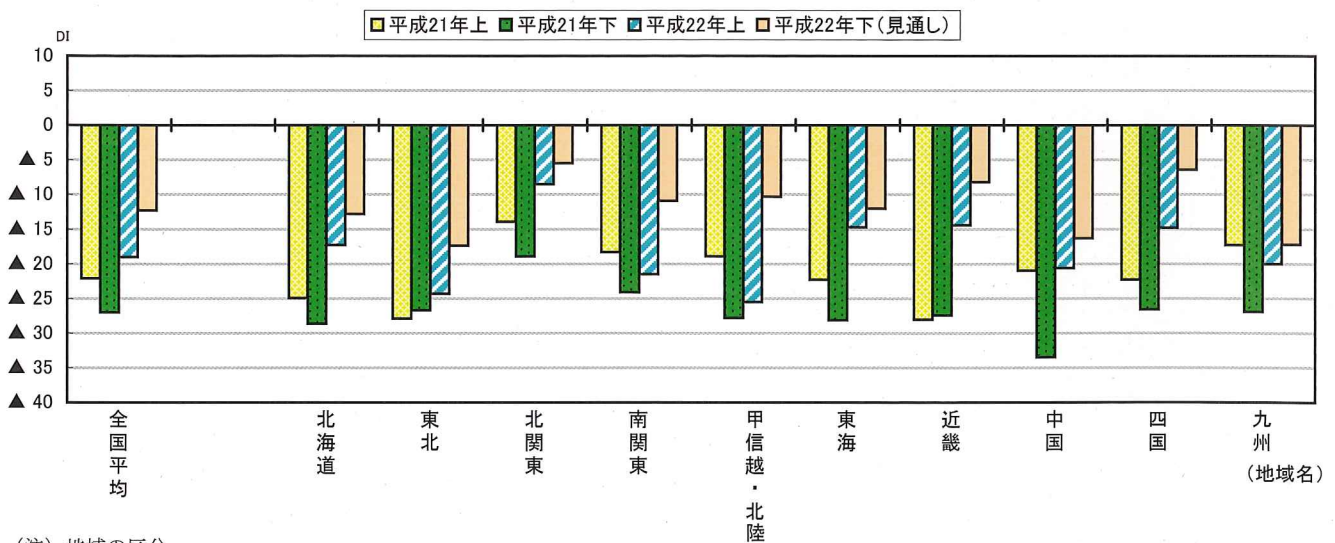
- 平成22年上半期の食品産業（製造業、卸売業、小売業、飲食店）の景況動向指数（DI）は悪化傾向から回復に転じ、今年下半期も改善の見通しとなり、景気底打ちの判断と見受けられる。
- 景況DIが前回21年下半期調査で、調査開始（平成9年）以来、最低水準のマイナス27.0となったが、今回の調査では売上高、経常利益、資金繰りとも改善となり、8.0ポイント上昇でマイナス19.0と下落に歯止めがかかった。
- 22年下半期についても、6.7ポイント上昇のマイナス12.3と持ち直しが続く見通し。



(注) 日銀短観は、毎年4~6月、10~12月の数値を用いた。

2 地域別景況DIの推移

- 22年上半期の地域別景況DI（実績）は、各地域とも前回調査に比べ、2.3ポイントから13.4ポイントの改善となった。そのうち東北、南関東、甲信越・北陸では2ポイント台の小幅改善で、それぞれマイナス24.3、マイナス21.5、マイナス25.5にとどまり、回復が遅れ気味。
- 22年下半期は、各地域とも2.7から15.2ポイントの上昇でマイナス17.4からマイナス5.5となり改善の見通し。特に、甲信越・北陸では15.2ポイントの上昇で大幅な改善見通し。



(注) 地域の区分

北海道……北海道
 東北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 北関東……茨城県、栃木県、群馬県
 南関東……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 甲信越・北陸……新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海……岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿……滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州……福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

3 業種別景況DIの推移

【製造業】

- 22年上半期の景況DIは3.8ポイント上昇しマイナス17.0となり改善。
- 22年下半期の景況DIは6.6ポイント上昇しマイナス10.4となり改善見通し。

【卸売業】

- 22年上半期の景況DIは18.6ポイント大幅上昇しマイナス18.3となり改善。
- 22年下半期の景況DIは3.2ポイント上昇しマイナス15.1となり改善見通し。

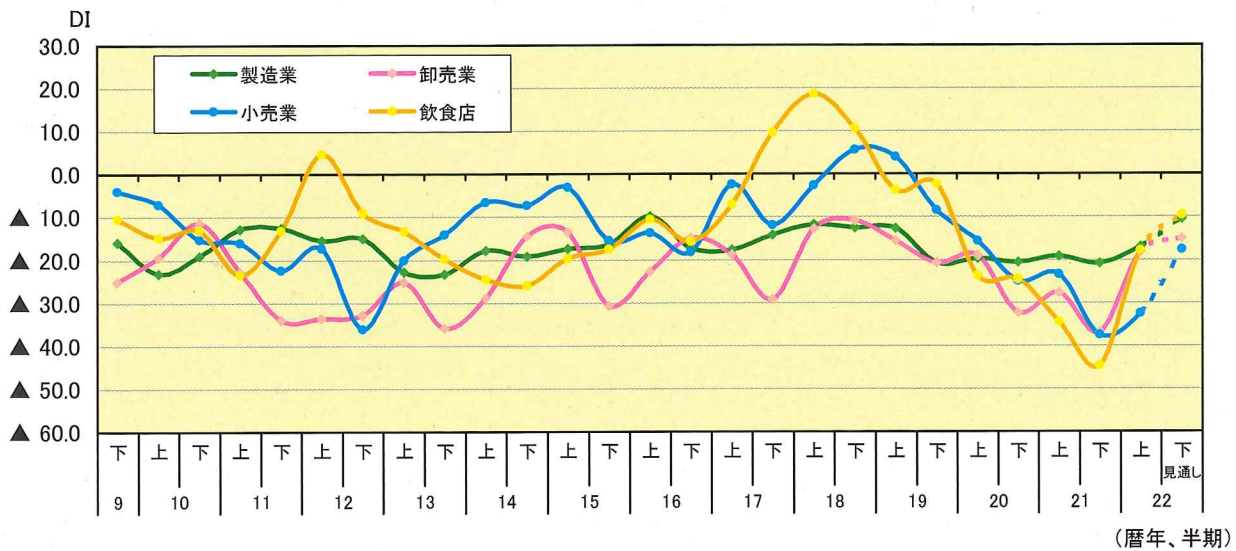
【小売業】

- 22年上半期の景況DIは5.0ポイント上昇しマイナス32.5となり改善。
- 22年下半期の景況DIは14.9ポイント大幅上昇しマイナス17.6となり改善見通し。

【飲食店】

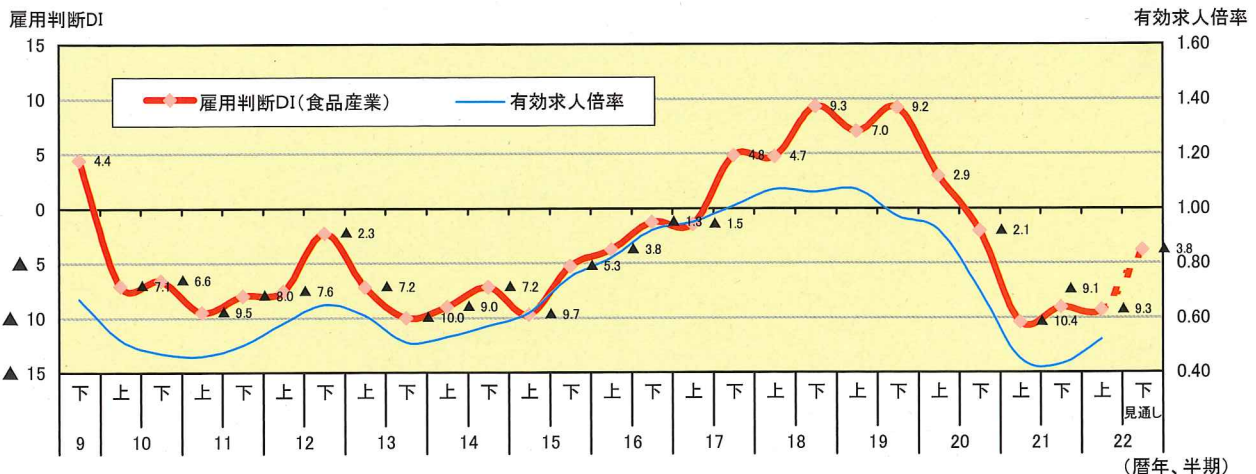
- 22年上半期の景況DIは26.7ポイント大幅上昇しマイナス17.9となり改善。
- 22年下半期の景況DIは8.3ポイント上昇しマイナス9.6となり改善見通し。

	17年 上半期	17年 下半期	18年 上半期	18年 下半期	19年 上半期	19年 下半期	20年 上半期	20年 下半期	21年 上半期	21年 下半期	22年 上半期	22年 下半期 見通し
製造業	▲ 17.6	▲ 14.2	▲ 11.7	▲ 12.6	▲ 12.7	▲ 20.7	▲ 19.6	▲ 20.6	▲ 19.1	▲ 20.8	▲ 17.0	▲ 10.4
卸売業	▲ 18.8	▲ 29.3	▲ 12.8	▲ 10.9	▲ 15.6	▲ 20.6	▲ 19.1	▲ 32.3	▲ 27.8	▲ 36.9	▲ 18.3	▲ 15.1
小売業	▲ 2.4	▲ 11.8	▲ 2.6	5.7	4.0	▲ 8.4	▲ 15.5	▲ 25.0	▲ 23.4	▲ 37.5	▲ 32.5	▲ 17.6
飲食店	▲ 7.1	9.7	18.6	10.5	▲ 3.8	▲ 2.3	▲ 23.7	▲ 24.5	▲ 34.5	▲ 44.6	▲ 17.9	▲ 9.6



4 雇用判断DIの推移 (「不足」の割合から「過剰」の割合を引いた値)

- 22年上半期の雇用判断は、前回調査21年下半期より0.2ポイント低下しマイナス9.3とわずかながら悪化。
- 下半期見通しは5.5ポイント上昇しマイナス3.8まで改善となり、食品産業の雇用情勢にも回復基調が見られる。

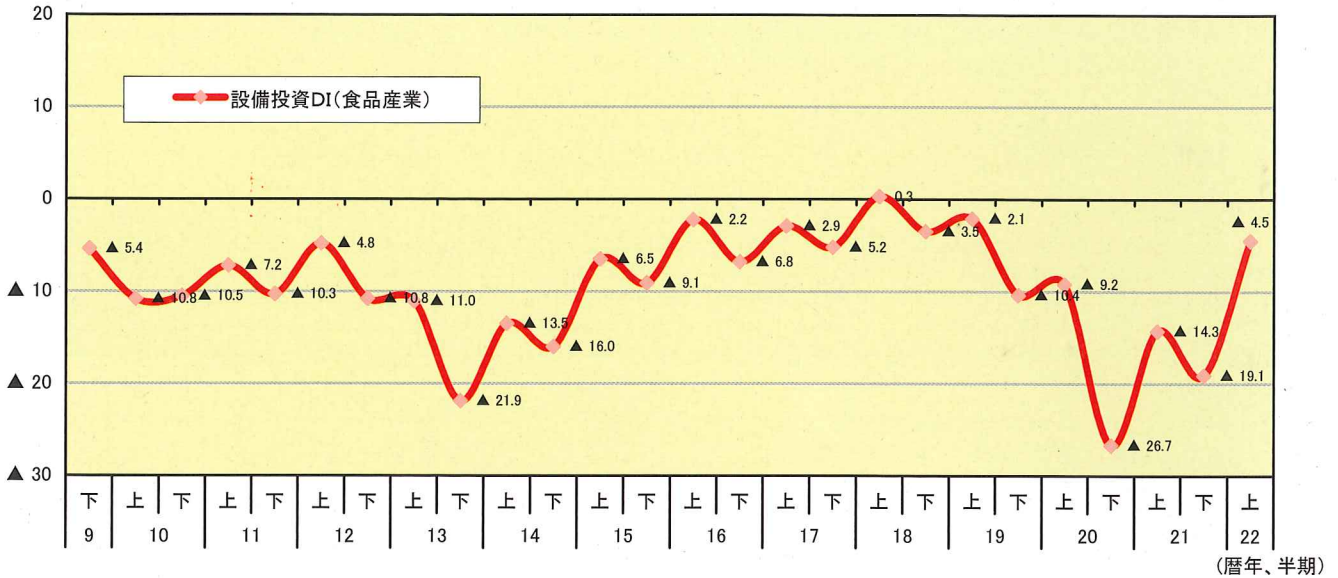


(注) 有効求人倍率は、新規学卒者を除き、パートを含む毎年6月、12月の季節調整値。

5 設備投資DIの推移（「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値）

○22年の設備投資見通しは、前回調査時よりも14.6ポイント上昇しマイナス4.5と3年前の水準まで大幅に改善。製造業、小売業の改善幅がそれぞれ16.3ポイント、15.6ポイントと大きく、景気回復基調の景況感を裏付ける。

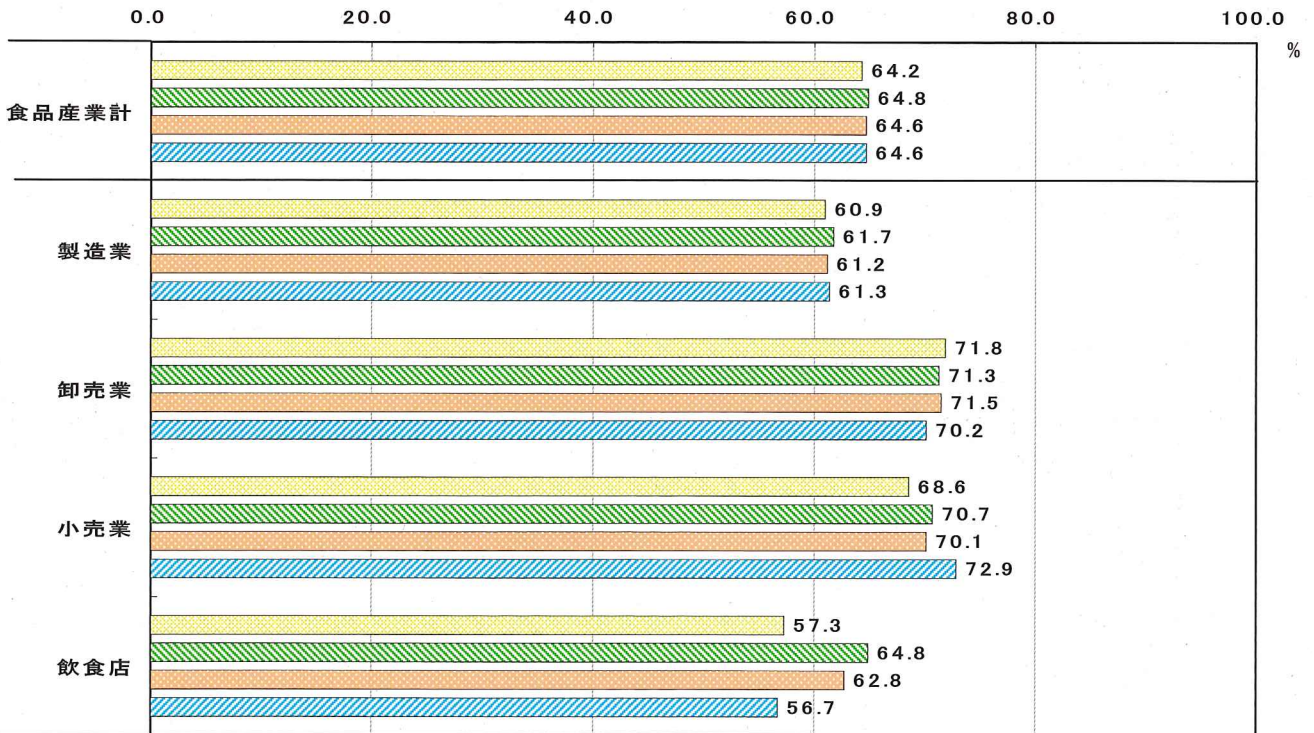
設備投資DI



(注) 年途中に行う上半期調査に比べ、年初に行う下半期調査の方が設備投資に対して弱含みの数値となりやすい。

6 国内産農畜水産物の使用割合の推移

○22年上半期の国内産農畜水産物の使用割合は食品産業全体で平均64.6%となり、前回調査と変わらず、国産回帰の動きは頭打ちの傾向が続く。

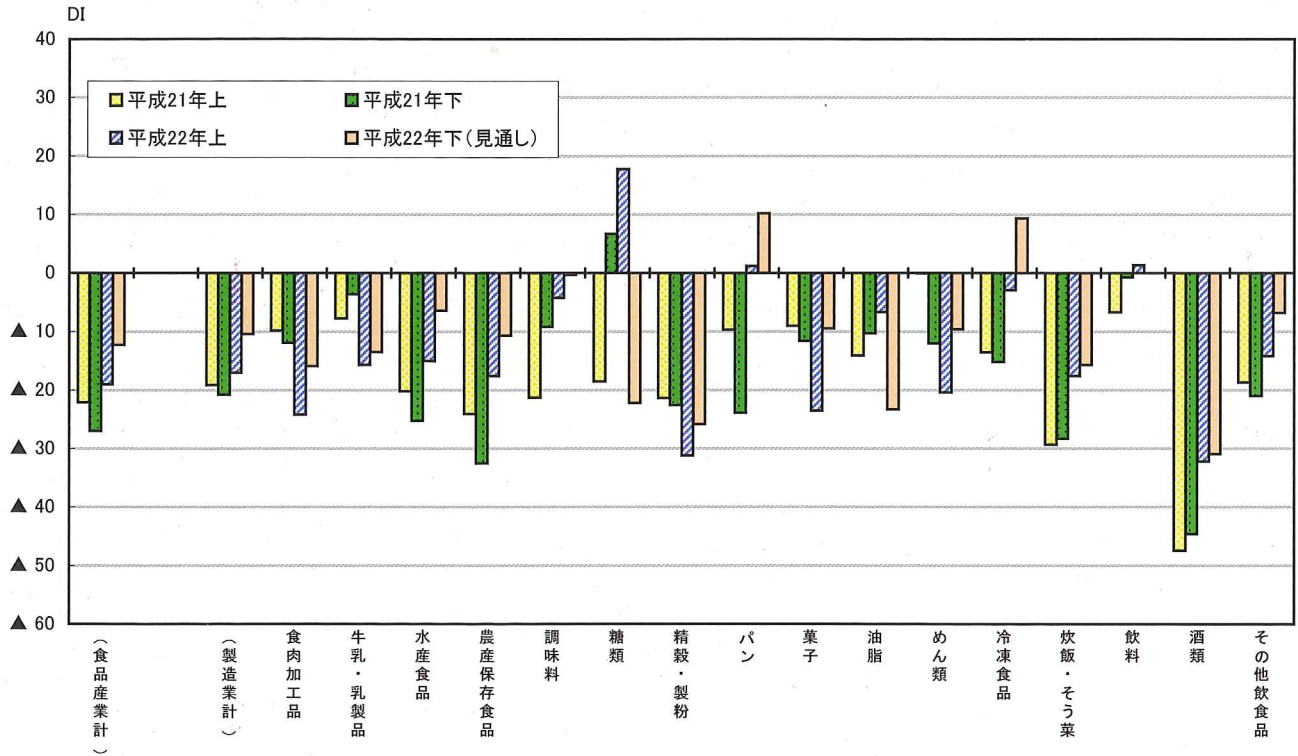


注: 回答のあった企業の平均値である。

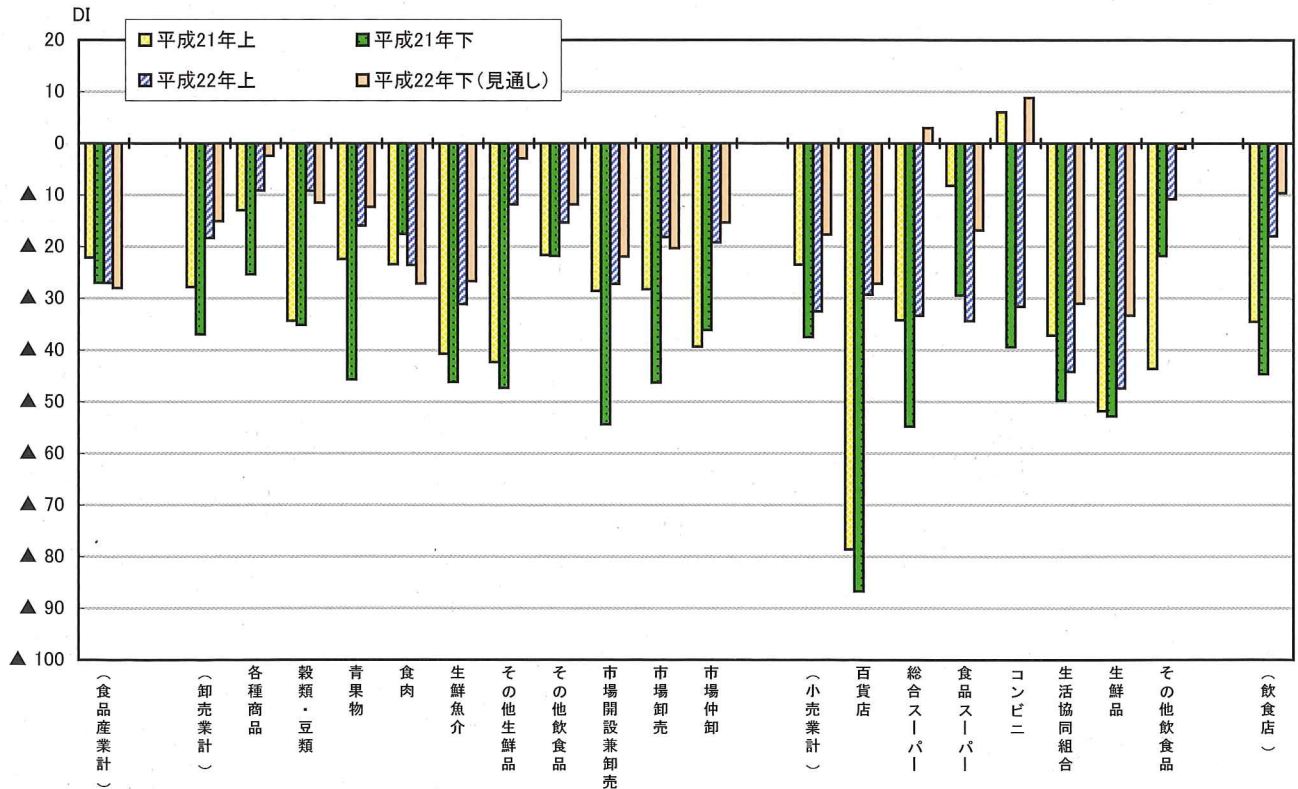
■ 20年下半期 ■ 21年上半期 ■ 21年下半期 ■ 22年上半期

(参考) 業種別景況DI (詳細版)

製造業

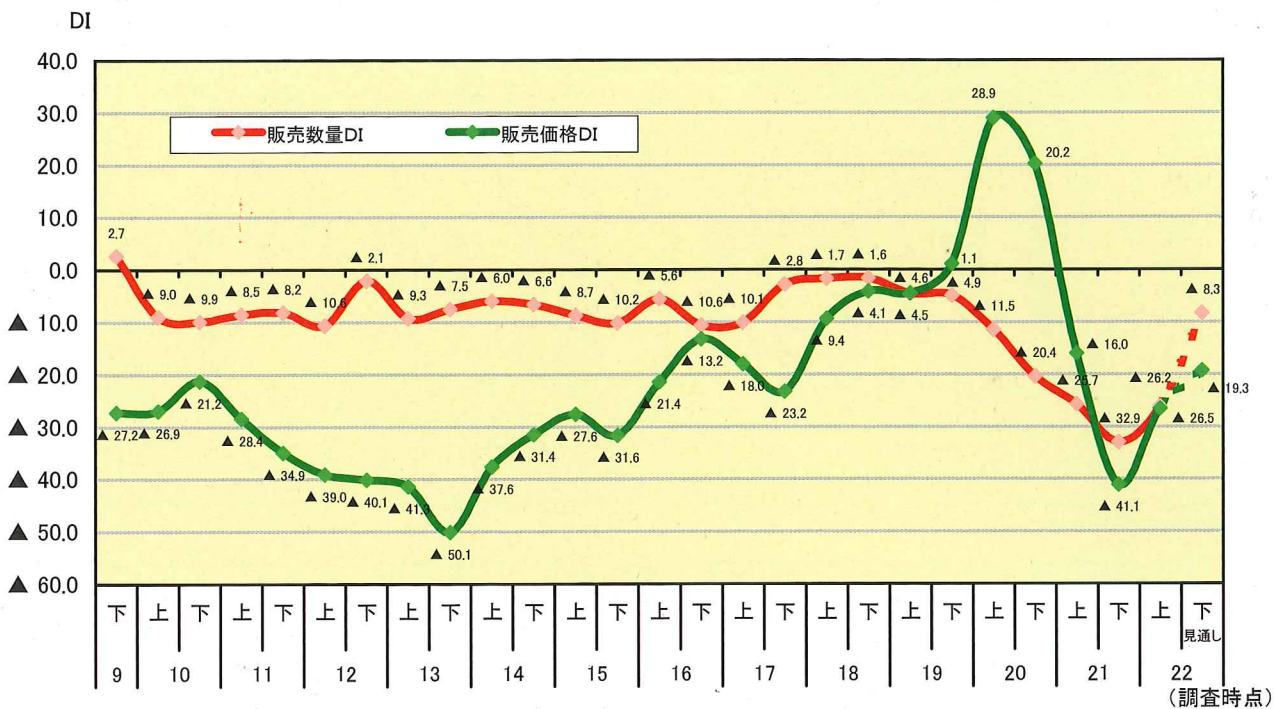


卸売業・小売業・飲食店

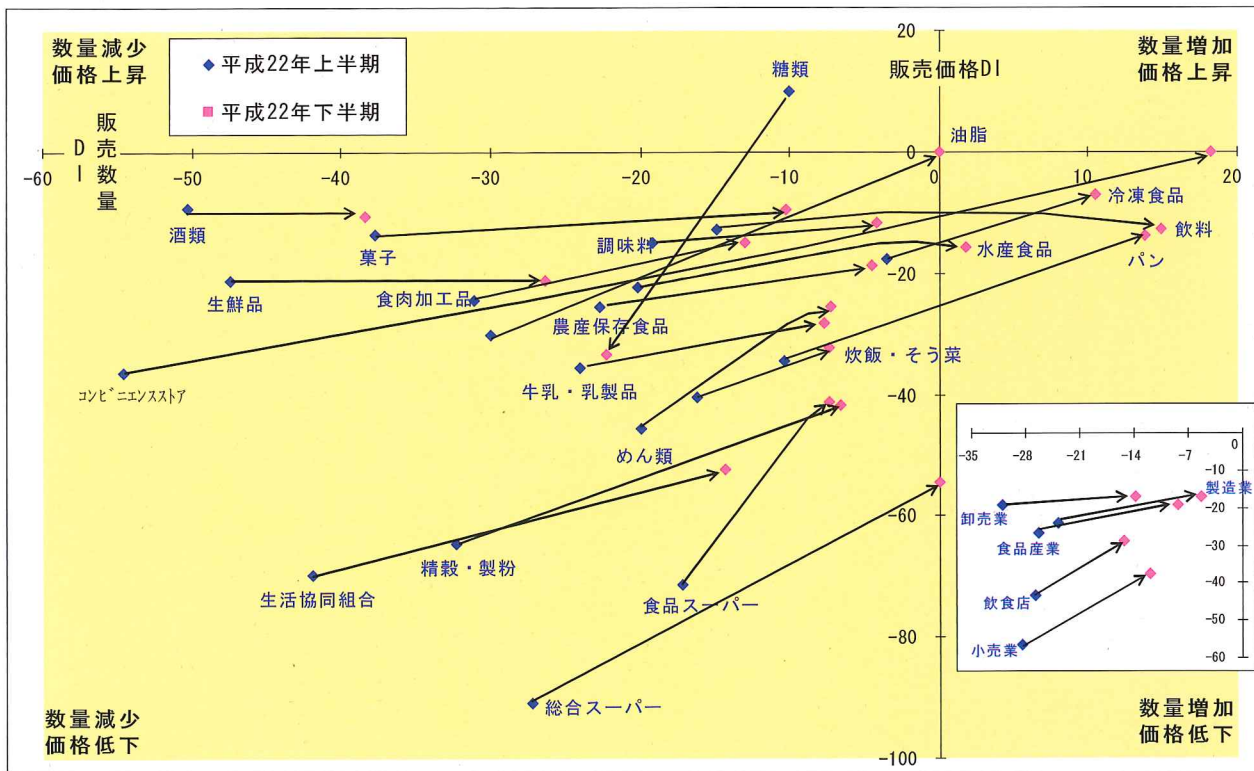


7 販売数量DIと販売価格DIの推移

○販売数量DI、販売価格DIともに下落が続き、デフレスパイラルとも見える傾向が続いていましたが、今回の調査では販売数量で6.7ポイント、販売価格で14.6ポイントの上昇となり、景気が回復基調にあることや消費者の低価格志向の一服感などが影響していると考えられます。



(参考) 業種別の販売数量と販売価格の動向



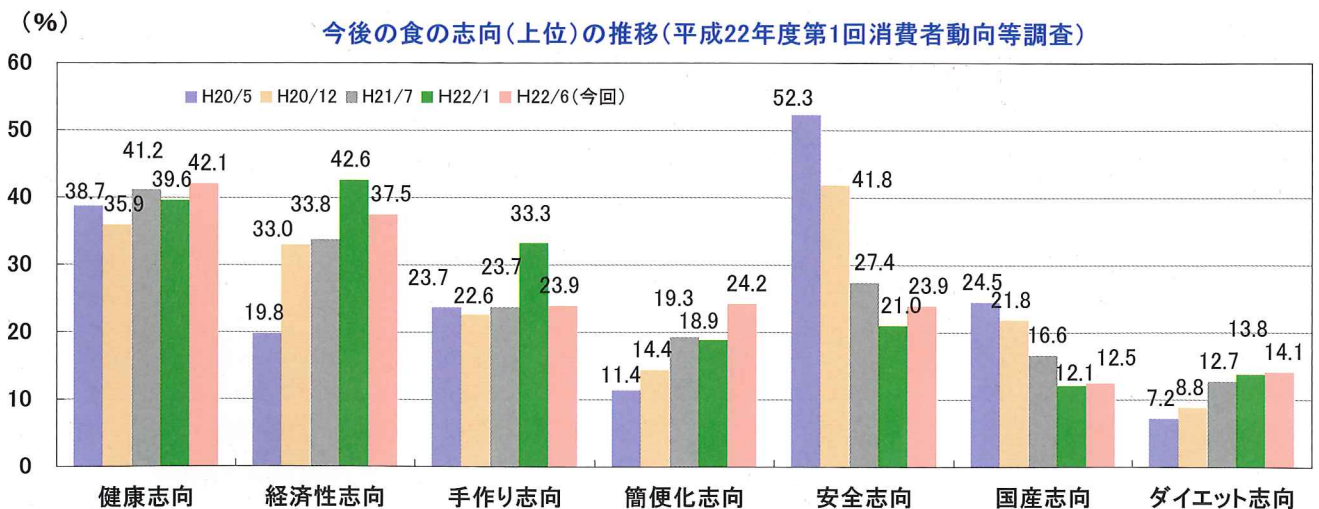
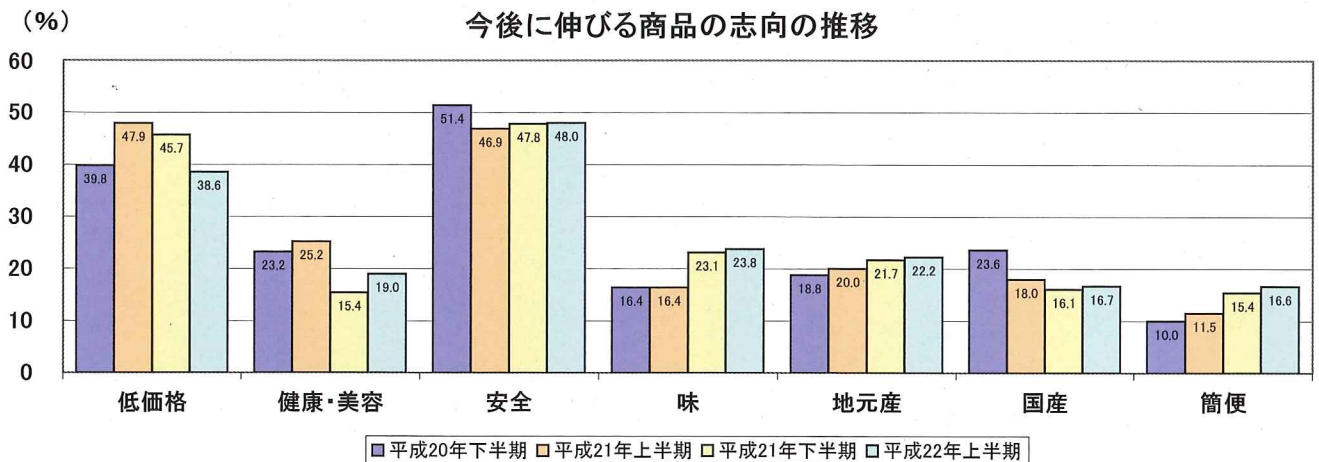
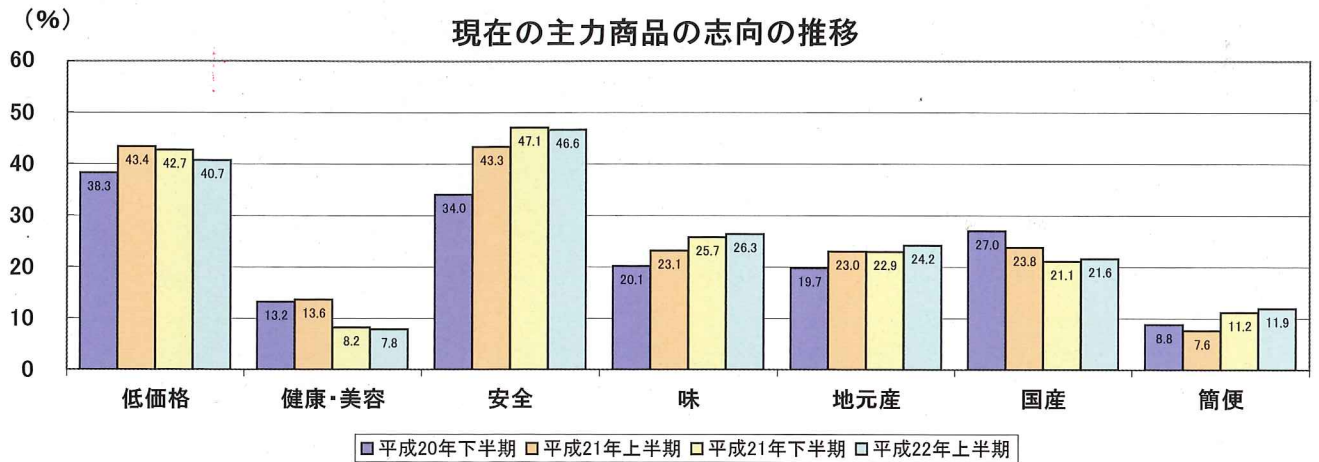
8 食品産業の商品志向について

○食品産業の商品志向は、「安全」の確保を最優先にする姿勢が変わりがないものの、「低価格」志向が減少したのは注目点。これは、消費者の節約（経済性志向）疲れと同時に、食品産業業界の安売り競争が限界にきていることなどを反映し歯止めがかかった結果とも見受けられる。

○今後については、「安全」を第一に、消費者の志向にもみられる「健康・美容」、「簡便」を重視する方向がみえる。

○「味」「地元産」「国産」志向についても、「低価格」が減少傾向にある中で、一定の水準を維持しており、商品志向が低価格から付加価値に方向転換してきていることがうかがえる。

食品産業の商品志向は「低価格」減少、業界の安売り競争の限界も関連か



(参考) 景況天気図

業種別の景況天気

業種	景況		売上高		経常利益		資金繰り	
	22年上半期	22年下半期	22年上半期	22年下半期	22年上半期	22年下半期	22年上半期	22年下半期
製 造 業	食肉加工品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	牛乳・乳製品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	水産食品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	農産保存食品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	調味料	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	糖類	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	精穀・製粉	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	パ菓子	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	油脂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	めん類	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	冷凍食品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	炊飯・そう菜	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	飲酒	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
その他飲食品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	
(製造業計)	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
卸 売 業	各種商品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	穀類・豆類	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	青果	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	生鮮魚介	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	その他生鮮品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	その他飲食品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
(卸売業計)	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
(再掲)	うち市場開設兼卸売	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	うち市場卸売	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	うち市場仲卸	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
小 売 業	百貨店	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	総合スーパー	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	食品スーパー	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	コンビニエンスストア	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	生活協同組合	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	その他の各種食品店	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	生鮮品店	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
その他飲食品店	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	
(小売業計)	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
飲食店	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
(食品産業計)	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂

(注) 天気マークは、景況DIの数値帯によって次のとおりとした。

☂ (雨) ≤ -20 < ☂ (小雨) ≤ -5 < ☂ (くもり) < 5 ≤ ☂ (薄日) < 20 ≤ ☂ (晴れ)

この調査のお問い合わせは、日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報戦略部 03-3270-3151までお願いします。

詳しい調査結果を当公庫ホームページ (<http://www.afc.jfc.go.jp>)に掲載しています。
 トップページから「各種レポート」→「食品産業動向調査」の順でご覧ください。